

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	01	01	広報活動事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	04	01	広報活動事業

実施計画整理番号	
601010101	
総合戦略整理番号	32303

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	市民へ市政運営方針や各施策の考え方・内容・効果などの行政情報を提供することで、市としての説明責任を果たし、市民と行政が互いの理解と信頼を深めることを目的とする。	広報もばらについては、分かりやすく親しみやすい紙面づくりを心がけ、新鮮かつタイムリーな情報提供をするため、月2回発行する。迅速に伝達することを目的として、新聞折込で配布する。 また、市のさらなるPRのため、イベントや記者会見時に使用するインタビューボードを購入する。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
・市民により興味を持ってもらえるような紙面の作成。 ・紙媒体以外の発信方法の検討。	毎月1日・15日の2回、36,000部を発行。発行日当日の朝刊に折り込む。	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	20,912	20,912	20,698	20,896	20,888	20,551	22,510	0	0	22,598	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	60	0	0	60	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	20,912	20,912	20,698	20,896	20,888	20,551	22,450	0	0	22,538	0	0

DO (実施)	個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
			計画	予算	決算	
	①	広報もばらの発行	20,777	20,778	20,453	毎月1日・15日の2回、36,000部を発行。今後も市民に必要な情報を掲載するとともに、市民ニーズを踏まえた情報の発信に努める。
	②	インタビューボードの購入	119	110	98	広報用備品を購入した。
	③		0	0	0	
	④		0	0	0	
	⑤		0	0	0	
	⑥		0	0	0	
	⑦		0	0	0	
	⑧		0	0	0	
	⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0		
事業費計			20,896	20,888	20,551	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

広報発行については、毎月1日・15日の2回、36,000部を発行。年間総ページ数336ページ。
新聞折込については、32,400部(30年1月1日号)。新聞購読数により変動あり。

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	601010101
6	01	01	01	広報活動事業	2	01	04	01	広報活動事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況					30年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	<ul style="list-style-type: none"> ・広報発行回数: 24回 ・広報発行部数: 864,000部 ・年間総ページ数: 328ページ 					<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブページアクセス件数: 1,667,943件/年(138,995件/月) ・マチイロ登録者数: 998人 				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A: 妥当である	行政情報を市民に迅速かつ的確に発信することは行政の責務である。		A: 有効である	インターネットが活用できない方も依然多く、広報紙などの紙媒体で行政情報を提供することは有効である。		A: 効率的である	内容を更に充実させ、市政により興味を持って貰えるような情報を発信するため、ページ数の拡大、カラー印刷を検討する必要がある		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	A: 実現している	広報・ウェブサイトでの公表		A: 実現している	団体・グループの会員募集・イベント案内記事の掲載。市民紹介など。		C: 実現の余地がない			
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
	A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	毎月1日・15日の2回、36,000部を発行。行政情報を迅速かつ的確に発信し、市民の利便性の向上を図るとともに行政運営の理解と市政参加への促進を図った。新聞未購読世帯に対しては、郵送および公共施設への設置、スマートフォンアプリによる配信などにより対応しているが、年々増加している。								
	企画政策課での評価とその理由									
	A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	広報は計画どおりの回数が発行され、ウェブアクセス数及びマチイロ登録者数ともに増加しており、行政情報の提供について一定の成果を挙げたと認められる。新聞未購読世帯に対する対応について検討するものとする。								
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定					令和元年度成果指標(アウトカム)の設定				
	<ul style="list-style-type: none"> ・広報発行回数 ・広報発行部数 ・年間総ページ数 					<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブページアクセス件数 ・マチイロ登録者数 				
令和元年度における具体的な目標					令和元年度における事務事業スケジュール					
<ul style="list-style-type: none"> ・市民により興味を持ってもらえるような紙面の作成。 ・紙媒体以外の発信方法の検討。 					毎月1日・15日の2回、35,500部を発行。発行日当日の朝刊に折り込む。					

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
6	01	01	01
ウェブサイト運営事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
2	01	04	03
ウェブサイト運営事業			

実施計画整理番号	
601010102	
総合戦略整理番号	32303

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	市の情報を必要としている方に、ウェブサイトによる行政情報の提供を行うことで、市のPRを図り、多くの方に関心をもってもらう。	各所属にホームページ制作委員を設け、それぞれの所属における業務案内や情報発信を依頼することで、広報紙ではできないタイムリーな情報を発信する。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
	ウェブサイト制作研修会を開催し、情報発信力の向上に努める。	ウェブサイトにより、随時、最新の情報を迅速に提供していく。また、SNSなど新しい情報発信手段を利用し、発信力の強化に努める。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	2,052	2,052	2,052	2,052	2,052	2,048	2,281	0	0	2,106	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	1,440	1,440	1,660	1,440	1,440	1,440	1,440	0	0	1,440	0	0
	一般財源	千円	612	612	392	612	612	608	841	0	0	666	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	ウェブサイトの運営管理	2,052	2,052	2,048	アクセス数1,667,943件/年(138,995件/月)
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		2,052	2,052	2,048	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
ウェブサイトによる行政情報の発信を行い、市民サービスの向上を図った。アクセス数1,667,943件/年(138,995件/月)

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	601010102
6	01	01	01	ウェブサイト運営事業	2	01	04	03	ウェブサイト運営事業	

30年度活動指標(アウトプット)の達成状況	30年度成果指標(アウトカム)の達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイト公開ページ数: 2,779ページ ・更新頻度: 2,078ページ/年(173ページ/月) 	ウェブサイトアクセス数1,667,943件/年(138,995件/月)

妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由
A: 妥当である 行政情報を市民に迅速かつ的確に発信することは行政の責務である。	A: 有効である 最新の情報を迅速に提供することができた。	A: 効率的である 全面リニューアルしたばかりのため、当分の間はコストの増加・増大の要因はない。

「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由
A: 実現している 広報・ウェブサイトでの公表。	A: 実現している お問い合わせフォームの設置。	C: 実現の余地がない

所管による評価とその理由、課題・問題点	
A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	ウェブサイトでの情報発信に加え、Facebookなどの情報発信手段を利用し発信力の強化に努めた。インターネット等情報端末を活用できない方もいるので、広報などできめ細かく情報提供を行う必要がある。

企画政策課での評価とその理由	
A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	公開ページ数・更新頻度ともに増加しており、ウェブサイトアクセス数も増加していることから情報発信力の向上が認められる。今後も、Facebookなど様々な情報発信手段を活用し、発信力の強化に努めるものとする。

政策調整会議での評価とその理由	
	/

庁議における方針	
	/

令和元年度活動指標(アウトプット)の設定	令和元年度成果指標(アウトカム)の設定
<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイト公開ページ数 ・更新頻度 	ウェブサイトアクセス数

令和元年度における具体的な目標	令和元年度における事務事業スケジュール
ウェブサイト制作研修会を開催する。昨年度までの初級者向けに加え中級者向け研修を行い、さらなる情報発信力の向上に努める。	ウェブサイトにより、随時、最新の情報を迅速に提供していく。また、SNSなど新しい情報発信手段を利用し、発信力の強化に努める。

CHECK (評価)

ACT (改善)

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	02	01	広聴活動事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	04	02	広聴活動事業

実施計画整理番号	
601020101	
総合戦略整理番号	0

P L A N (計 画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	市民から幅広く意見・提言を聴取し、市政に反映させることを目的とする。	「市長と話し合う会」、「市民ふれあいミーティング」、「公共施設見学会」の開催。「市長への手紙」の運用。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
	・昨年度に見直した市長と話し合う会の開催方法を検証し、新規参加者の確保、会議の活性化を図る。	・「市長への手紙」:各公共施設に備え付けの用紙、市公式ウェブサイト、電子メールから随時受付。 ・「市長と話し合う会」:11月18日(日)、市役所市民室で開催 ・「市民ふれあいミーティング」:随時受付

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	94	94	62	94	94	52	80	0	0	80	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	94	94	62	94	94	52	80	0	0	80	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	市長への手紙の運用	11	11	0	107件(うち電子メール52件)。今後も幅広く意見・提言を聴取していく。
②	各種広聴事業の開催	83	83	52	市長と話し合う会を1回開催。45人が参加、質問者数11人。29年度からテーマを設け、市側から施策等の説明を行うなど見直しを行っており、今年度も同様に開催した。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		94	94	52	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・「市長への手紙」:107件(うち電子メール52件)。回答数は55件。 ・「市長と話し合う会」:11月18日(日)市民室で開催。45人が参加、質問者数11人。29年度からテーマを設け、市側から施策等の説明を行うなど見直しを行っており、今年度も同様に開催した。

D
O
(
実
施
)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	601020101
6	01	02	01	広聴活動事業	2	01	04	02	広聴活動事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況					30年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	・「市長への手紙」:用紙設置枚数300枚 ・「市長と話し合う会」:開催回数1回 ・「市民ふれあいミーティング」:開催回数2回					・「市長への手紙」:意見・提言数107件、回答数55件 ・「市長と話し合う会」:参加者数45人、質問者数11人 ・「市民ふれあいミーティング」:参加者計8人				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A:妥当である	市民から幅広く意見・提言を聴取し、市政に反映させる必要がある。			A:有効である	さまざまな方法で市民からの意見・提言を聴取する機会を設けた。		A:効率的である	将来的にもコストの増加・増大の要因はなく、継続することができる。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	A:実現している	広報・ウェブサイトでの公表			A:実現している	市長への手紙の運用、市長と話し合う会、市民ふれあいミーティングの実施		C:実現の余地がない		
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	「市長への手紙」の運用、「市長と話し合う会」や「ふれあいミーティング」を開催するなどさまざまな方法で、市民から幅広く意見・提言を聴取する機会を設け、市政に反映することができた。29年度からテーマを設け、市側から施策等の説明を行うなど見直しを行った結果、質問者が増加し活発な意見交換が行われており、今年度も同様に開催した。								
	企画政策課での評価とその理由									
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	広く意見を聴取する機会を設けており、一定の成果が認められる。引き続き、意見を聴取する機会・方法を検討し、幅広い市民の意見等を市政に反映させるよう努めるものとする。								
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

A C T (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定					令和元年度成果指標(アウトカム)の設定				
	・「市長への手紙」:用紙設置枚数 ・「市長と話し合う会」:開催回数 ・「市民ふれあいミーティング」:開催回数					・「市長への手紙」:意見・提言数、回答数 ・「市長と話し合う会」:参加者数、質問者数 ・「市民ふれあいミーティング」:開催回数				
令和元年度における具体的な目標					令和元年度における事務事業スケジュール					
・一昨年度に見直した市長と話し合う会の開催方法を検証し、新規参加者の確保、会議の活性化を図る。					・「市長への手紙」:各公共施設に備え付けの用紙、市公式ウェブサイト、電子メールから随時受付。 ・「市長と話し合う会」:11月17日(日)、市役所市民室で開催 ・「市民ふれあいミーティング」:随時受付					

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	02	02	市民相談事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	14	01	市民相談事業

実施計画整理番号	
601020201	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	多種・多様化する市民の相談等に迅速かつ適切に対処できるよう努め、関係部署・機関との連携により相談業務の充実を図る。	市民相談・無料法律相談・人権相談・行政相談・交通事故相談を実施する。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
・市民が持つ悩みや心配ごとなどを、各種相談に気軽に相談いただく。	<ul style="list-style-type: none"> ・市民相談・結婚相談 ・無料法律相談 ・人権・行政相談 ・交通事故相談 ・出会いの広場 	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	1,160	1,160	1,144	1,160	1,151	1,132	1,180	0	0	1,167	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,160	1,160	1,144	1,160	1,151	1,132	1,180	0	0	1,167	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	市民相談	7	3	3	市民相談員が市民の日常生活での悩みごとや心配ごとに対し、聴き取りを行い、解決に向けた助言を行った。今後も継続する。
②	無料法律相談	781	780	779	弁護士相談により適切に対応できた。多様化する相談における専門的解答ニーズに応えるために今後も継続が必要。
③	人権相談	268	265	264	人権擁護委員が専門的見地から解決に向けた方向性を見出している。住民に更なる周知を図り、今後も継続する。
④	行政相談	62	61	61	行政相談委員が専門的見地から解決に向けた方向性を見出している。住民に更なる周知を図り、今後も継続する。
⑤	交通事故相談	2	2	1	市民に専門的な相談を受ける機会を与えられ、今後も県へ継続を要望する。
⑥	婚活イベントの開催	40	40	24	結婚を希望する方に出会いの機会を提供した。結婚支援について、民間に繋げるなど検討していく。
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		1,160	1,151	1,132	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・無料法律相談は、日常生活にわたる法律問題について弁護士が対応(月2回予約制)
- ・人権相談は、いじめや差別、いやがらせなどの人権に関する問題について人権擁護委員が対応(月2回)
- ・行政相談は、官公庁が行う業務の苦情、要望、問合せなどについて行政相談委員が対応(月2回)
- ・交通事故相談は、損害賠償の仕方や算定額などについて、県交通事故相談所の専門の相談員が対応(年11回)
- ・出会いの広場は、結婚を希望する男女の出会いのきっかけづくりを目的として開催(年2回)

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	601020201
6	01	02	02	市民相談事業	2	01	14	01	市民相談事業	

30年度活動指標(アウトプット)の達成状況		30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
複雑・多様化する市民の相談に各種相談で迅速かつ適切な助言を行うことができた。		H30相談受付件数 ・市民相談 481件 ・行政相談 7件 ・人権相談 6件 ・法律相談 163件 ・交通事故相談 22件 ・結婚相談 13件			
妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	市が実施することで市民は安心して相談できる。	A:有効である	適切な助言を行い、問題解決に繋げている。	A:効率的である	各種相談業務は、専門的な相談員が配備されている。
「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	広報、ホームページ等で相談業務を紹介している。	A:実現している	市民ニーズを把握しながら実施している。	C:実現の余地がない	相談業務であり、専門員を活用している。
所管による評価とその理由、課題・問題点					
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	多種多様化する市民の相談に専門の相談員や弁護士を活用し、細やかで的確な相談事業を実施しており、相談者からも高い評価を得ている。年々増加する市民相談に対応するため窓口業務の充実に努める。また、結婚相談事業は登録制の結婚相談や婚活イベントだけでは成婚に繋がらないため、多様な出会いの機会づくりに加え誰もが安心して気軽に相談することができるようにするため、結婚相談員を配置するなど相談窓口の充実に努める。				
企画政策課での評価とその理由					
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	様々な相談にきめ細かく対応しており、十分な成果を挙げたものと認められる。引き続き、相談体制を維持するとともに、市民が相談窓口にとどり着けるよう、周知を図るものとする。				
政策調整会議での評価とその理由					
庁議における方針					

A C T (改 善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定		令和元年度成果指標(アウトカム)の設定	
	・市民相談・結婚相談 平日執務時間内 ・無料法律相談 毎月第2木・第4火曜日 ・人権・行政相談 毎月第2火・第4木曜日 ・交通事故相談 5～3月第4金曜日	・市民が抱える様々な問題の解決に向け、各種相談業務を適切に機能させる。		
令和元年度における具体的な目標		令和元年度における事務事業スケジュール		
市民が持つ悩みや心配ごとなどを、各種相談に気軽に相談いただく。		・市民相談・結婚相談 平日執務時間内 ・無料法律相談 毎月第2木・第4火曜日 ・人権・行政相談 毎月第2火・第4木曜日 ・交通事故相談 5～3月第4金曜日 ・出会いの広場 8・12月		

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
6	02	01	02
情報化推進事業(安全安心地図情報システム)			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
2	01	01	03
情報化推進事業			

実施計画整理番号	
602010201	
総合戦略整理番号	12202

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
担当課ごとに整備されている地図情報を一元管理することで庁内における有効利用を促進する。 市が保有する地図情報を住民に公開することで、平時及び災害時に安心安全に関する地図情報の共有を図る。	既存の地図情報システムを一元化し、紙で管理している地図情報の電子化に積極的に取り組む。 また、公開できる地図情報を増やし、双方向のやり取りが可能なシステムを導入する。
平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
・事業の遂行	・活用部会の開催(9月から11月) ・わが街ガイドのPR ・市民参加型ワークショップへの参加(8月) ・双方向システムの運用(9月から12月)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	3,987	3,987	3,985	3,987	4,461	4,461	4,245	0	0	4,323	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,987	3,987	3,985	3,987	4,461	4,461	4,245	0	0	4,323	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	システム保守・運用費	3,987	4,461	4,461	市民双方向システム(モバリんレポート)の運用開始、市民参加型ワークショップ(もばちやいる)に参加、また、わが街ガイドのレイヤ追加及び更新を図り情報発信している。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		3,987	4,461	4,461	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
双方向システム(モバリんレポート)の運用開始(平成31年2月) 市民参加型ワークショップ(もばちやいる)に参加 わが街ガイドのレイヤの追加及び更新

PLAN (計画)

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	02	01	02	情報化推進事業(安全安心地図情報システム)

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	01	03	情報化推進事業

整理番号
602010201

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況		30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	市民双方向システム(モバリんレポート)の運用開始(平成31年2月) 活用部会は未開催(令和元年8月22日開催決定)		モバリんレポートの投稿数は26件(平成31年2月13日~令和元年5月末参考)で主に道路陥没が多い。また、わが街ガイドについての訪問数は、PC版で15,925人、スマホで1,534人となっている。特に、都市計画情報、道路情報の閲覧が多い。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	B:ほぼ妥当である 全庁的かつ横断的に利用でき、また市民が地図を介して情報を取得することが出来ている。		B:やや有効である 地図情報の有効活用と、モバリんレポートについては市民と行政が効率的に課題を解決する仕組みが成り立っている。		B:やや効率的である 地図情報の有効活用と、モバリんレポートについては市民と行政が効率的に課題を解決する仕組みが成り立っている。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している わが街ガイドの公開により、情報を市民と共有している。		A:実現している 研修会の実施によりユーザーを増やしている。また、講師については職員が務めることが出来るまでレベルが上がっている。		A:実現している モバリんレポートによる投稿と、市民参加型ワークショップに開催により実現している。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		職員のレベルが上がり、操作研修会の講師を務めることが出来る(全国のユーザの中では初)。市民参加型ワークショップ(もばちやる)に参加し、地図を作製する楽しさと地図から地域の魅力を発見すること繋がった。 市民双方向システム(モバリんレポート)の運用により、効率的な課題解決が実現できている。 わが街ガイドの新規レイヤ(水害履歴)を追加した。 活用部会は未開催(令和元年8月22日開催)である。			
	企画政策課での評価とその理由					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		事業の目的に対し、一定の成果が認められる。今後も、人材育成やPRを行い、利用者の増加に努めるものとする。			
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定		令和元年度成果指標(アウトカム)の設定	
	活用部会をテーマを持って運用する モバリんレポート及びわが街ガイドのPR		モバリんレポートの投稿数を増やす わが街ガイドの閲覧数を増やす	
令和元年度における具体的な目標		令和元年度における事務事業スケジュール		
事業の執行		操作研修会の開催(7月) モバリんレポート及びわが街ガイドのPR(通年) 活用部会の開催(8月22日)		

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	02	01	02	コンビニ交付サービス事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	02	01	06	コンビニ交付サービス導入事業
2	03	01	06	

実施計画整理番号	
602010202	
総合戦略整理番号	0

P L A N (計 画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	マイナンバーカードを利用して、住民票、印鑑登録証明書、所得課税証明書を全国のコンビニエンスストア等で取得できる「コンビニ交付サービス事業」を令和元年7月に開始する。	コンビニ交付サービスの導入準備及び実施。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
	令和元年7月1日からコンビニ交付サービスを開始できるよう、システムの改修をする。	9月の補正予算案可決後、すみやかにベンダーとのシステム改修のための契約締結、遂行。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	0	0	0	0	3,456	0	4,122	0	0	5,380	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	3,456	0	4,122	0	0	5,380	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	コンビニ交付導入(市民税課)	0	648	0	翌年度へ全額繰越
②	コンビニ交付導入(市民課)	0	2,808	0	翌年度へ全額繰越
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		0	3,456	0	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
システム改修のための契約。マイナンバーカード取得促進とサービス開始の周知。

D
O
(
実
施
)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目				整理番号	
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
6	02	01	02	コンビニ交付サービス事業	2	02	01	06	コンビニ交付サービス導入事業	602010202
					2	03	01	06		

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況							
	妥当性の評価とその理由				有効性の評価とその理由				効率性の評価とその理由			
	A:妥当である		マイナンバーカードを使用したコンビニ交付のシステムの構築・運営管理をすでにJ-LISが実施している。人口減少、少子高齢化社会に対応した民間活用やICTを利用した、人に頼らない仕組づくりが必要とされている。		A:有効である		第4日曜開庁、水曜延長を実施しているが、全国のコンビニ等で、夜間・休日でも証明書を取得できるため、更なる住民サービスの向上を図ることができる。		B:やや効率的である		窓口業務との目的が仕分けられるため、窓口業務に専念することが可能となり、限られた人員で効率的な事務運営を図ることができる。	
	「情報の共有」の状況とその理由				「参加」の状況とその理由				「協働」の状況とその理由			
	B:実現に向けて取り組んでいる		マイナンバーカードを保持者が利用者となるため、窓口や産業まつり等でカードの取得推進や内容周知に努めている。		C:実現の余地がない		市民等の参加事業ではない。		C:実現の余地がない		市民等の協働事業ではない。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点											
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		コンビニ交付サービスが開始される旨のチラシを配布し、マイナンバーカード取得にむけた窓口やコミュニティビジョンでの案内や申請の補助に取り組み、産業まつりでは4時間で44人の申請があった。サービス開始直前の広報や自治会回覧での周知やカード取得申請の推進に努める。									
企画政策課での評価とその理由												
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		サービスの導入準備について、計画どおり達成されている。今後もサービスの周知とあわせ、カード取得推進に努め、利用者増に向けて取り組むものとする。										
政策調整会議での評価とその理由												
庁議における方針												

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	広報もばらへ2回掲載(5月、7月)、定例記者会見へコンビニ交付開始の情報提供(6月)、自治会回覧(7月)、各総会会場へチラシ設置。産業まつりにてマイナンバーカード申請補助(11月・会場被災のため中止)、ウェブページへ掲載(通年)、窓口でのパンフレット配布等により、周知活動を行う。				マイナンバーカードの交付率2%向上、コンビニでの証明書発行700枚を目指す。			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
7月1日から全国のコンビニエンスストア等において、マイナンバーカードを利用し、住民票の写し、印鑑登録証明書、所得課税証明書を取得できるようにする。				5月下旬 システム試験Ⅰ(DSK)、6月上旬 試験Ⅱ(東京・評価センター)、6月下旬実店舗試験(市内4店舗)、7月1日サービス開始。				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	03	01	01	コミュニティ活動支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	03	コミュニティ活動支援事業

実施計画整理番号	
603010101	
総合戦略整理番号	22201

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(「だれ・何」を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	「魅力あるまち」「住んでいたいまち」を形成するために重要な役割を果たす自治会等の地域コミュニティにおいて、活動が活発に行われ、地域に住む市民が積極的に参加するようにする。	コミュニティ活動の育成や地域コミュニティ施設の整備充実を図るための各種支援策を講じる。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
	<ul style="list-style-type: none"> 自治会長連合会学習会 3回 自治会長連合会視察研修 4回 自治会長連合会講演会 1回 集会所の整備件数 3件 	7月 長生都市連合自治会連絡会負担金 7月 茂原市自治会長連合会活動費補助金交付 9月 自治会長委託料交付 随時 集会所整備補助金交付

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	15,313	17,813	17,355	15,171	18,301	18,017	17,440	0	0	17,103	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	2,500	0	2,500	2,500	2,500	0	0	2,500	0	0
	一般財源	千円	15,313	17,813	14,855	15,171	15,801	15,517	14,940	0	0	14,603	0	0

DO (実施)	個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
			計画	予算	決算	
	①	コミュニティ団体の活動支援	14,427	14,424	14,161	補助金の交付等をはじめとするさまざまな支援に努め、活動の活性化を促すことができた。今後も継続する。
	②	コミュニティ備品の整備	45	65	64	コミュニティ備品を修繕及び更新した。今後も継続し、保有備品の適正な維持管理に努める。
	③	集会所の整備	699	1,312	1,292	補助金の交付により、集会所1か所が改築され、2か所が修繕された。今後も継続し、自治会等の活動拠点の整備促進に努める。
	④	コミュニティ助成	0	2,500	2,500	自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、1自治会において備品が整備された。今後も各自治会への周知を図る。
	⑤		0	0	0	
	⑥		0	0	0	
	⑦		0	0	0	
	⑧		0	0	0	
	⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0		
事業費計			15,171	18,301	18,017	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- 団体への補助等(茂原市自治会長連合会への活動費補助金交付、長生都市連合自治会連絡会への負担金)
- 文書配布等の事務委託(自治会長委託料の交付)
- コミュニティ備品の整備(サウンドシステム用スピーカーの修繕、ロールスクリーンの購入)
- 集会所整備補助(1自治会の集会所新築及び2自治会の集会所修繕に対する補助金交付)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	603010101
6	03	01	01	コミュニティ活動支援事業	2	01	12	03	コミュニティ活動支援事業	

30年度活動指標(アウトプット)の達成状況	30年度成果指標(アウトカム)の達成状況
補助金の交付額 5,387,980円(うち自治会長連合会補助金1,566,980円、集会所整備補助金1,292,000円、コミュニティ助成事業補助金2,500,000円) 補助金の交付件数 5件(自治会長連合会補助金1件、集会所整備補助金3件、コミュニティ助成事業補助金1件)	・コミュニティ活動の促進(参加者数) 自治会長連合会定期総会出席人数208名(うち委任状87名) ・コミュニティ備品の数、利用状況 23種類2,329点 ・延べ貸出団体数 822団体 ・集会所の整備件数 新築1件、修繕2件

妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由
A:妥当である コミュニティ活動の充実については、市が関与すべき事業であり、妥当性はある。	A:有効である コミュニティ活動の育成と拠点整備等の支援に努めることで、より良いまちづくりという成果が得られることが期待できる。	A:効率的である 事務事業の執行は効率的に実施しており、継続して支援していく必要がある。

「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由
A:実現している 自治会長連合会役員や各単位自治会長と情報を共有しながら、施策を推進している。	A:実現している 自治会長連合会役員や各単位自治会長の参加を得ながら、施策を推進している。	A:実現している 自治会長連合会役員や各単位自治会長と目的を共有し、適切に役割を分担している。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	人々が地域で生活を営む上で、日常生活をより豊かで快適に安心して暮らしていくためには、コミュニティ活動の充実が欠かせないものであることから、自治会長連合会と連携しながら、各種支援等を行い、活性化を図った。今後も、コミュニティへの理解を深め、より多くの人々が積極的に参加できるよう、コミュニティ活動を支援していく必要がある。

企画政策課での評価とその理由	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各種支援策によりコミュニティ活動の充実に成果が認められる。今後も、より多くの人々が積極的に参加できるよう、支援に努めるものとする。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

令和元年度活動指標(アウトプット)の設定	令和元年度成果指標(アウトカム)の設定
補助金の交付額 補助金の交付件数	・コミュニティ活動の促進(参加者数) 自治会長連合会定期総会出席人数 ・コミュニティ備品の数、利用状況 ・集会所の整備件数

令和元年度における具体的な目標	令和元年度における事務事業スケジュール
・自治会長連合会学習会 3回 ・自治会長連合会視察研修 4回 ・自治会長連合会講演会 1回 ・集会所の整備件数 5件	7月 長生都市連合自治会連絡会負担金 7月 茂原市自治会長連合会活動費補助金交付 9月 自治会長委託料交付 随時 集会所整備補助金交付

CHECK(評価)

ACT(改善)

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	04	01	01	男女共同参画社会づくり推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	03	男女共同参画社会づくり推進事業

実施計画整理番号	
604010101	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	男女がお互いを尊重しつつ責任を分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分発揮することができる男女共同参画社会づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画をテーマとした講演会やフォーラム等を行い、市民意識の醸成を図る 適正な事業執行のため、推進協議会による事業評価を実施する 社会情勢に合った第4次計画とするため、推進協議会により策定協議を行う
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)講演会を企画・実施する。 男女共同参画に関する市の取り組みを市民に適宜情報提供し、理解を深める。 各関係機関(県、商工会議所、市内企業・団体、市民)と連携し、各分野における男女共同参画推進に努める。 あらゆる分野における男女共同参画を積極的に推進するため、計画事業評価及び第3次計画事業の推進に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)講演会へ、100名以上の参加を目指す。 市と市民との協働により、男女共同参画に関する正しい理解と啓発に努める。 	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	128	128	128	128	232	168	163	0	0	691	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	128	128	128	128	232	168	163	0	0	691	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	計画の策定協議	60	110	98	男女共同参画計画(3次)の推進を図るため、事業について評価を実施し、提言書を市に提出した。今後も継続して実施する。
②	茂原市ハートフルフェスタの開催	68	122	70	ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)講演会及び男女共同参画に関して、自由に意見交換できる場としてコスモスサロンを開催し、意識啓発を図った。今後も継続して実施する。
③	男女共同参画計画の策定協議	0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		128	232	168	

<p>平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> 第11回茂原市ハートフルフェスタでは、「男女共同参画と我が人生～堂本暎子さんと考える社会問題のいま～」と題して講演会を開催し、79名が参加した。 コスモスサロン講演会として、エンディングノートと遺言書のちがいについて講演会を開催し57名が参加した。 コスモスサロン映画上映会を2回開催。男女共同参画に関するDVDを視聴し意見交換を行った。1回目92名、2回目68名が参加した。 計画の推進については、推進協議会により24事業について外部評価を行い、事業評価報告書としてまとめ、市長に提出、また担当課に結果を報告した。
--

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目				整理番号	
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	604010101
6	04	01	01	男女共同参画社会づくり推進事業	2	01	09	03	男女共同参画社会づくり推進事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況					30年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会実施回数 4回 ・情報提供の回数 4回 ・男女共同参画計画の推進、事業評価の実施 男女共同参画推進委員会(庁内)及び男女共同参画推進協議会(第三者)で事業評価を実施 					<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画について正しく理解する市民を増やす(講演会等参加延べ人数 296人) ・計画事業評価Aの事業 重点評価20事業のうち8事業 				
	妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由			
	A: 妥当である 男女共同参画は若年層を中心に進んでいるが、社会全体としては不十分なところがあり、更なる推進に向けて市が率先して取り組む必要がある。			B: やや有効である 一定の理解は深まっているものの、取り組みが遅れている分野について、より幅広い周知が必要。			C: あまり効率的ではない 男女共同参画の推進には意識改革が必要であり、すぐに結果が出るものではなく、根気強く取り組むことが必要。			
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由			
	A: 実現している 市ホームページ、自治会回覧、広報誌等で情報提供している。			A: 実現している 講演会に市民意見を反映できるように市民のボランティアが参加。計画の事業評価に協力する協議会の委員には、市民が参加している。			A: 実現している 講演会実施にあたっては市民が企画・運営を担当。計画の事業評価にあたり、協議会の意見を取り入れ、より市民目線の評価及び提言に努めた。			
所管による評価とその理由、課題・問題点										
A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 公募の市民で構成されるハートフルフェスタ実行委員会の企画・運営による、男女共同参画の正しい理解と啓発のための「ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)」及び男女共同に関する意見交換の場としての「コスモスサロン」を開催し、市民と行政の協働による効果的な取り組みとなった。今後も引き続き、あらゆる分野における男女共同参画の正しい理解と意識啓発のため、市と市民及び関係団体が連携・協力して啓発・推進に努めていく。										
企画政策課での評価とその理由										
A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上) ハートフルフェスタ講演会の実施回数の増等、さまざまな取り組みに対して市民の意識醸成に大いに寄与しており、成果が認められる。引き続き、周知、啓発を継続することにより、男女共同参画に対する正しい理解に努めるものとする。										
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定					令和元年度成果指標(アウトカム)の設定				
	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会実施回数 1回以上 ・情報提供の回数 年1回以上 ・男女共同参画計画の事業評価の実施 					<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画について、正しく理解する市民を増やす。 ・計画事業評価Aの事業を増やす。 				
令和元年度における具体的な目標					令和元年度における事務事業スケジュール					
<ul style="list-style-type: none"> ・ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)講演会を企画・実施する。 ・男女共同参画に関する市の取り組みを市民に情報提供し、理解を深める。 ・各関係機関(県、商工会議所、市内企業・団体、市民)と連携し、各分野における男女共同参画推進に努める。 ・あらゆる分野における男女共同参画を積極的に推進するため、計画事業評価及び第3次計画事業の推進に努める。 					<ul style="list-style-type: none"> ・ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)講演会へ、100名以上の参加を目指す。 ・市と市民との協働により、男女共同参画に関する正しい理解と啓発に努める。 					

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	03	02	収税コールセンター業務

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	02	02	05	徴収事務運営費

実施計画整理番号	
605030201	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要									
PLAN (計画)	<table border="1"> <tr> <th>事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)</th> <th>活動内容(目的を達成するために何を行うか)</th> </tr> <tr> <td>歳入の根幹を成す市税等の徴収率向上及び累積滞納を未然に防止する。</td> <td>「納税コールセンター」を設置し、現年分の固定資産税、軽自動車税、市県民税(特別徴収含む)、国民健康保険税において督促状を発送しても納付の確認が出来ていない者に対し、電話連絡や文書により早期納付を促す。</td> </tr> <tr> <th>平成30年度の具体的な目標</th> <th>平成30年度スケジュール</th> </tr> <tr> <td>平成30年7月より納税コールセンターを稼働する。</td> <td>平成30年7月 納税コールセンター設置</td> </tr> </table>	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)	歳入の根幹を成す市税等の徴収率向上及び累積滞納を未然に防止する。	「納税コールセンター」を設置し、現年分の固定資産税、軽自動車税、市県民税(特別徴収含む)、国民健康保険税において督促状を発送しても納付の確認が出来ていない者に対し、電話連絡や文書により早期納付を促す。	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール	平成30年7月より納税コールセンターを稼働する。	平成30年7月 納税コールセンター設置
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)							
	歳入の根幹を成す市税等の徴収率向上及び累積滞納を未然に防止する。	「納税コールセンター」を設置し、現年分の固定資産税、軽自動車税、市県民税(特別徴収含む)、国民健康保険税において督促状を発送しても納付の確認が出来ていない者に対し、電話連絡や文書により早期納付を促す。							
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール							
平成30年7月より納税コールセンターを稼働する。	平成30年7月 納税コールセンター設置								

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	0	0	0	0	5,134	4,369	6,098	0	0	6,152	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	5,134	4,369	6,098	0	0	6,152	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	納税コールセンターの運営	0	5,134	4,369	達成状況としては十分な成果を得られ、今後も継続していく。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		0	5,134	4,369	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・納付の確認が出来ていない者に対して、電話による納付の勧奨 ・電話にて連絡の取れない者に対して、文書による納付の勧奨

DO
(実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	03	02	収税コールセンター業務

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	02	02	05	徴収事務運営費

整理番号
605030201

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況		30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	電話による納付勧奨及び文書連絡 ・電話件数 7,364件(平日6,664件、休日700件)		市税等の徴収率向上 ・現年分の徴収率が、前年度と比較して0.19%増加し98.85%となった。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	電話による納付勧奨を民間事業者へ委託することにより、職員が財産調査や差押えに専念し、徴収率の向上に繋がる。	A:有効である	電話による納付勧奨を民間事業者へ委託することにより、職員が財産調査や差押えに専念し、徴収率の向上に繋がる。	A:効率的である	電話による納付勧奨を民間事業者へ委託することにより、職員が財産調査や差押えに専念し、徴収率の向上に繋がる。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	C:実現の余地がない		C:実現の余地がない		C:実現の余地がない	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	現年分の徴収率が、前年度と比較して0.19%増加し98.85%となり、徴収率の向上に繋がった。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	徴収率の向上が見られ、事業の目的に対し、成果を挙げたと認められる。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定		令和元年度成果指標(アウトカム)の設定	
	電話による納付勧奨及び文書連絡		市税等の徴収率向上	
令和元年度における具体的な目標		令和元年度における事務事業スケジュール		
市税等の徴収率向上に向けて、引き続き電話による納付勧奨及び文書連絡を行う。		平成31年4月より、継続して納税コールセンターを実施する。		

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	04	01	本納公民館・本納支所複合施設建設事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	02	10	本納公民館・本納支所複合施設建設事業

実施計画整理番号	
605040101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 本納公民館と本納支所を複合施設として整備し、本納公民館を解体した後駐車場の整備を図る	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 本納公民館・本納支所複合施設本体工事 本納公民館解体、駐車場整備工事
平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
旧本納公民館、旧本納支所の解体。外構・駐車場整備工事。	起債(4~5月)、工事検査(31年3月)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	714,319	714,485	709,213	148,607	149,653	135,376	0	0	0	0	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	611,300	610,900	606,500	41,800	130,600	118,700	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	103,019	103,585	102,713	106,807	19,053	16,676	0	0	0	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	本納公民館・本納支所複合施設建設工事	0	0	0	
②	本納公民館・本納支所複合施設備品購入等	960	960	960	終了。
③	本納公民館・本納支所複合施設引越し	0	0	0	
④	本納公民館解体・駐車場整備	147,647	148,693	134,416	終了。
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		148,607	149,653	135,376	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
 ②駐車場使用料(駐車場用地20台分)④旧公民館と旧本納支所を解体し、外構・駐車場を整備。

PLAN(計画)

DO(実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	605040101
6	05	04	01	本納公民館・本納支所複合施設建設事業	9	05	02	10	本納公民館・本納支所複合施設建設事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況					30年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	本納公民館・本納支所複合施設建設工事 129,492千円 本納公民館・支所複合施設建設工事監理業務委託料 3,996千円					ほのおか館の利用者の安全性と利便性があがった。				
	妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	地域性を踏まえ、ほのおか館の利用者には必要である。		A:有効である	市民の教育活動を一層進めることが出来るため、有効である。		A:効率的である	工事は入札によっており、効率的である。		
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	工事契約は、契約にあたり議会の決議を得ている。		C:実現の余地がない	工事には専門性が求められるため。		C:実現の余地がない	工事には専門性が求められるため。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	平成31年3月に外構及び駐車場整備が完了。施設の利便向上に寄与しており、引き続き維持管理に努める。								
	企画政策課での評価とその理由									
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	ほのおか館の開館及び駐車場・外構等の付帯工事が年度中に完了していることから、当初の目的を達成しており、成果が認められる。								
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										
ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定					令和元年度成果指標(アウトカム)の設定				
	令和元年度における具体的な目標					令和元年度における事務事業スケジュール				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
6	05	05	03
茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
2	01	09	06
茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略			

実施計画整理番号	
605050303	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	H27年に策定した茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の対象年度がH31年度までであり、H32年度において効果測定をする必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・推進委員報償費及び食糧費 ・PDCAサイクルを適正に実現するためのKPI(重要業績評価指標)を測定するために、調査・アンケート等を実施する。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
各事業で設定した数値目標及びKPI(重要業績評価指標)についてPDCAサイクルに基づいて効果を検証した上で、必要に応じた見直しや新たな施策や事業の必要性など、より実効性を高め、目標の達成を目指していく。	H30.8月 <ul style="list-style-type: none"> ・総合戦略策定会議幹事会 ・総合戦略策定会議 ・総合戦略推進会議 ・第3回定例会議員全員協議会での検証 	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	71	70	38	71	71	38	62	61	0	2,395	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	71	70	38	71	71	38	62	61	0	2,395	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	茂原市まち・ひと・しごと総合戦略等の効果検証	71	71	38	外部委員による効果検証を実施。今後も総合戦略に基づいた事業を進めていく。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		71	71	38	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

下記会議を開催し効果検証を行い、総合戦略の見直しを行った

- ・総合戦略策定会議幹事会での効果検証実施(H30.8)
- ・総合戦略策定会議での効果検証実施(H30.8)
- ・総合戦略推進会議での効果検証実施(H30.8)
- ・第3回定例会議員全員協議会での効果検証実施(H30.8)

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	605050303
6	05	05	03	茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業	2	01	09	06	茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	「茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定会議設置要領」及び「茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議設置要領」に基づき、策定会議幹事会、策定会議、推進会議を開催した。また、H30年第3回定例会議員全員協議会に効果検証及び見直しを依頼し、出席した。				PDCAサイクルに基づいて各事業の効果検証を施し見直しを行った、施策・事業数：1事業(地域ぐるみの産業活性化事業)、まち・ひと・しごと創生本部HPにて公表。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	事業実施に伴う効果検証について、国へ報告する必要があるため、自治体を実施すべき事業である。	A:有効である	PDCAサイクルに基づいて各事業の効果検証を実施し、施策・事業の見直しを行うため、有効である。	A:効率的である	推進委員の報償費及び食料費のため、将来的に大幅な費用の増減はない。		
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由		
	A:実現している	会議の公表及び市のwebを通してインターネット上で評価結果を公表している。	A:実現している	総合戦略推進会議の中で市民の意見等を聴取している。	A:実現している	外部有識者で構成する検証組織は、産業・行政・教育・金融・労働・市民で構成している。		
所管による評価とその理由、課題・問題点								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各事業に対する効果検証を行い、その評価に基づいて必要な見直し等を行っている。							
企画政策課での評価とその理由								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	PDCAサイクルに基づき、事業評価の効果検証を実施し、見直しを行っているため当初の目標を達成していると認められる。今後も事業の必要性等を勘案し、目標の達成を目指すものとする。							
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	策定会議幹事会、策定会議、推進会議の開催及び議会での検証。				目標を達成した事業数。 PDCAサイクルに基づいて各事業の効果検証を施し、施策・事業の見直しを行う。 次期総合計画との統合に向けた計画期間の延長を行う。			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
R1.7月 ・総合戦略策定会議幹事会 ・総合戦略策定会議 R1.8月 ・総合戦略推進会議 ・第3回定例会議員全員協議会での検証				各事業で設定した数値目標及びKPI(重要業績評価指標)についてPDCAサイクルに基づいて効果を検証した上で、必要に応じた見直しや新たな施策や事業の必要性など、より実効性を高め、目標の達成を目指していく。				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
6	05	05	03
協働のまちづくり推進事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
2	01	12	04
協働のまちづくり推進事業			

実施計画整理番号	
605050304	
総合戦略整理番号	41101

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	市民や市民活動団体が地域の課題を主体的に解決しようとする機運の醸成を図る。	市内でまちづくりを行う団体を市民活動団体として認定し、支援を行う。また、地域まちづくり協議会に対して支援を行うとともに、市民活動団体の自発的な課題解決を促進するため、協働事業提案制度を運用する。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体の認定数 延べ20団体 地域まちづくり協議会の認定数 延べ3団体 協働提案事業の実施回数 2回 	<ul style="list-style-type: none"> 4月 市民活動団体補助金交付団体の募集 7月 協働提案事業サポート講座の開催 7月 協働提案事業の募集 8月 協働提案事業の審査・採択 3月 協働のまちづくり推進懇話会の開催 	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	1,055	1,055	945	988	1,002	894	1,362	0	0	1,263	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,055	1,055	945	988	1,002	894	1,361	0	0	1,263	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	協働事業提案サポート講座の開催	130	144	143	隔年で開催しており、平成30年度に2回実施した。今後も継続する。
②	協働提案事業審査会の運営	58	58	51	協働のまちづくり推進懇話会を設置し、会議を1回開催した。今後も継続する。
③	協働事業提案制度(団体提案型・行政提案型)の運営	200	200	200	2団体から提案を受け付け、2事業を採択して実施した。今後も継続する。
④	市民活動支援制度の運営	300	300	300	3団体に対して市民活動団体補助金を交付した。今後も継続する。
⑤	地域まちづくり協議会の設立・運営支援	300	300	200	3地区の地域まちづくり協議会を認定し、このうち2地区に補助金を交付した。今後も継続する。
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		988	1,002	894	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体の認定 20団体(平成30年度末現在) 市民活動団体交流会 11回 地域まちづくり協議会の認定 3団体(平成30年度末現在) 協働提案事業サポート講座 2回 協働提案事業 2事業を採択

DO (実施)

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	605050304
6	05	05	03	協働のまちづくり推進事業	2	01	12	04	協働のまちづくり推進事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況					30年度成果指標(アウトカム)の達成状況						
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体交流会の開催回数 10回 ・協働提案事業サポート講座の開催回数 2回 					<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体の認定数 20団体 ・地域まちづくり協議会の認定数 2団体 ・協働提案事業の実施回数 2事業 						
	妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由					
	A:妥当である	まちづくり条例に基づく協働のまちづくりの推進は、市が関与すべき事業である。			A:有効である	より良いまちづくりのためには、協働のまちづくりの推進が必要である。			A:効率的である	市民活動団体及び地域まちづくり協議会の認定及び支援、協働提案事業の適切な執行に努めた。継続していく必要がある。		
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由					
	A:実現している	市民活動団体及び地域まちづくり協議会と情報を共有しながら、施策を推進している。			A:実現している	市民活動団体及び地域まちづくり協議会の参加を得ながら、施策を推進している。			A:実現している	市民活動団体及び地域まちづくり協議会と目的を共有し、適切に役割を分担している。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点											
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	市民活動団体及び地域まちづくり協議会の認定及び支援、協働提案事業の適切な執行に努めた。											
企画政策課での評価とその理由												
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	事業計画に対し、当初の目標を達成したものと認められる。引き続き、市民活動団体及び地域まちづくり協議会の認定及び支援、協働提案事業の適切な執行に努めるものとする。											
政策調整会議での評価とその理由												
庁議における方針												

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定					令和元年度成果指標(アウトカム)の設定				
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体交流会の開催回数 ・協働提案事業サポート講座の開催回数 					<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体の認定数 ・地域まちづくり協議会の認定数 ・協働提案事業の実施回数 				
令和元年度における具体的な目標					令和元年度における事務事業スケジュール					
<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体の認定数 延べ25団体 ・地域まちづくり協議会の認定数 延べ3団体 ・協働提案事業の実施回数 2回 					<ul style="list-style-type: none"> 4月 市民活動団体補助金交付団体の募集 7月 協働提案事業の募集 8月 協働提案事業の審査・採択 10月 地域まちづくり協議会設立支援講座の開催 3月 協働のまちづくり推進懇話会の開催 					

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	05	04	マスコットキャラクターPR事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	03	02	マスコットキャラクターPR事業

実施計画整理番号	
605050401	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	マスコットキャラクター「モバリん」を活用し、本市のPR活動を実施することで、地域住民の郷土愛の醸成と域外での知名度を向上させ、地域振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> キャラクターグッズの販売により子どもたちへの浸透を図る。 本市の認知向上のためイベントに参加する。 着ぐるみの利用促進。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
	「モバリん会議」で考案した新デザインを、新モバリんグッズ等に活用し、売上向上及びモバリんのPRに努める。	<ul style="list-style-type: none"> 市職員で構成する団体の会議を定期的開催する。 新モバリんデザイン考案 新モバリんグッズ作製・販売

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	939	939	935	939	534	416	502	0	0	504	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	689	689	550	689	534	255	248	0	0	248	0	0
	一般財源	千円	250	250	385	250	0	161	254	0	0	256	0	0

DO (実施)	個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
			計画	予算	決算	
	①	マスコットキャラクターのプロモーション	76	76	76	新たなモバリんデザインを作製し、幅広く活用した。今後も引き続き、継続していく。
	②	イベント等への参加によるPR活動	147	195	97	七夕まつり、冬の七夕まつり等に出演し、PRを実施した。今後も引き続き、継続していく。
	③	市民・企業活動の場での着ぐるみの利用促進	24	36	23	市民や企業等に貸出しを実施している。今後も引き続き、継続していく。
	④	キャラクターグッズの製作・販売	692	227	220	オリジナル反射シールを作製し、桜まつりなどの各種イベントにおいて、配布を行った。今後も引き続き、継続していく。
	⑤		0	0	0	
	⑥		0	0	0	
	⑦		0	0	0	
	⑧		0	0	0	
	⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0		
事業費計			939	534	416	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・ちばテレビ出演1本、商業施設及び市内イベント等に出演し、モバリんの認知度向上を図った。
- ・桜まつり、七夕まつり、産業まつり、幕張メッセ観光PRイベントなどの各種観光イベントにおいて、モバリんグッズの販売を行った。
- ・市職員で構成される「モバリん会議」において、新モバリんデザイン、新モバリんグッズを考案、販売した。

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	605050401
6	05	05	04	マスコットキャラクターPR事業	6	01	03	02	マスコットキャラクターPR事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	PR活動については、市内運動会2件、ちばテレビ出演2本、ケーブルテレビ出演3本、市内外観光イベント5件、商業施設観光PRイベント1件、海ほたるパーキングエリア観光PRイベント2件に出演した。				グッズ売り上げ数は、ストラップ75個、キーホルダー49個、ネックホルダー96個、スライドミラー112個、ハンドタオル37枚、ミニタオル181枚、プラコップ33個、クリアファイル341枚、ピンバッジ152個、CD3枚で、売上金額は計237,242円。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	市独自のマスコットキャラクターのメディア等への露出やグッズ作製はシティブロモーションにつながり、妥当である。	B:やや有効である	市の魅力発信のためには有効なツールではあるが、多くの自治体でも実施されているため、活用方法を検討する必要がある。	A:効率的である	キャラクターデザインが市民や企業に幅広く利用されており、効率的である。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	市ウェブサイトや市発行の各種パンフレットに活用されている。	A:実現している	市民や企業に利用を促すとともに、市職員で構成する団体やモバリんグッズ取扱店からの意見を取り入れている。	A:実現している	市民や企業に利用を促すとともに、市職員で構成する団体やモバリんグッズ取扱店からの意見を取り入れている。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	着ぐるみの貸出が多く、維持管理に支障が出ている状況である。また、キャラクターグッズについては、多くの自治体が同様の商品を取扱しているため、他自治体にはない商品の開発、差別化を図る必要がある。							
企画政策課での評価とその理由								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	キャラクターデザインや着ぐるみが幅広く活用されており、地域振興に成果があったと認められる。引き続き、活用を推進するため着ぐるみの維持管理に努めるとともに、グッズの売上げが伸び悩んでいることから、対応策を検討するものとする。							
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内でのイベント貸出回数 ・各種PRイベント参加回数 				<ul style="list-style-type: none"> ・グッズ売上販売数 ・メディア露出回数 			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> ・市職員で構成する団体の会議を定期的開催する。 ・新モバリんデザイン考案 ・新モバリんグッズ作製、販売 				「モバリん会議」で考案した新デザインを、モバリんグッズ等に活用し、モバリんの更なる認知度や売り上げの向上を図る。				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	05	04	ふるさと茂原まちづくり応援寄附推進費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	05	ふるさと茂原まちづくり応援寄附推進費

実施計画整理番号	
605050402	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	本市ふるさと納税制度の推進、及び記念品の提供を通じた本市産品等の県内外への魅力発信並びに地域産業の振興を図る。	記念品の開発・発送にかかる業務を専門業者に委託し、記念品の充実及びインターネット等により情報発信を促進する。 また、寄附者の利便性向上のため、「ふるさとチョイス」からの寄附申込受付及びクレジットカード決済利用を継続する。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
年間を通じて、 ・「ふるさとチョイス」への掲載、寄附の受付 ・記念品の拡充及び寄付金の増加	・記念品を拡充する(3種類) ・事業者説明会の開催 ・「ふるさとチョイス」の利用により、本市ふるさと納税の周知や寄附者の利便性の向上を図るため、寄付方法の多様化等を検討する。	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	22,522	22,522	13,150	22,565	22,950	22,281	17,572	0	0	17,573	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	22,522	22,522	13,150	22,565	22,950	22,281	17,572	0	0	17,573	0

DO (実施)	個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
			計画	予算	決算	
	①	寄附者に対する記念品の贈呈	22,004	15,006	21,484	平成30年度寄附件数: 1,583件 平成30年度寄附金額: 52,822,105円
	②	インターネットポータルサイト及びクレジット決済による寄附手続の簡素化	561	393	797	「ふるさとチョイス」を利用した件数: 1,531件 クレジットカード決済を利用した件数: 1,138件 マルチペイメントを利用した件数: 356件
	③		0	0	0	
	④		0	0	0	
	⑤		0	0	0	
	⑥		0	0	0	
	⑦		0	0	0	
	⑧		0	0	0	
	⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0		
事業費計			22,565	15,399	22,281	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・平成30年10月1日より、寄附者の利便性向上のため決済方法にマルチペイメントを追加した。
- ・記念品の開発及び拡充に努め、17事業者、65品目を新たに追加した。

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	605050402
6	05	05	04	ふるさと茂原まちづくり応援寄附推進費	2	01	09	05	ふるさと茂原まちづくり応援寄附推進費	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	・新たに65品目の記念品を追加した。				・平成30年度の寄附件数(記念品対象分): 1,583件…① ①のうち「ふるさとチョイス」を利用した件数: 1,531件…② ②のうちクレジットカード決済を利用した件数: 1,138件 ②のうちマルチペイメントを利用した件数: 356件 平成30年度寄附金額(記念品対象分): 52,822,105円			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A: 妥当である	寄付者の利便性を向上させるとともに、広く周知を図ること、さらには歳入の確保等、市の事業として妥当である。	A: 有効である	記念品の贈呈はふるさと納税の推進、また地場産業の振興等の副次的効果もあり、有効である。	B: やや効率的である	一部の記念品については外部委託をしているが、その他多数の記念品については自前でやっているもので、全部委託を検討する余地はある。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A: 実現している	ホームページ等においてふるさと納税制度について周知している。	A: 実現している	寄付金の使途を選択できることにより、寄付者に参加の機会を提供している。	A: 実現している	記念品を市内業者から調達している。また、提供事業者もCSRや市の発展への寄与の意識を持って臨む事業者も多い。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	寄付件数、寄付金額とも昨年度より大幅に増加している(寄付件数: 昨年度比+638人、寄付金額: +19,052,605円)ことにより、ふるさと納税の推進が図られた。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	記念品の拡充や、マルチペイメントの対応等の取り組みにより、寄付件数及び寄付額が増加し、当初の目標を達成している。引き続き、寄付者及び寄付金の増加に資する取り組みを図るものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

A C T (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	・新規記念品の発掘 5品目				・令和元年度の寄附件数(記念品対象分): 1,500件 ・令和元年度の寄付金額(記念品対象分): 60,000,000円			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
年間を通じて、 ・「ふるさとチョイス」への掲載、寄付の受付 ・記念品の拡充及び寄付金の増加				・記念品を拡充する(3種類) ・事業者説明会の開催 ・「ふるさとチョイス」の利用により、本市ふるさと納税の周知や寄付者の利便性の向上を図るため、寄付方法の多様化等を検討する。				

平成30年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	05	04	シティプロモーション事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	06	茂原市総合戦略推進事業

実施計画整理番号	
605050403	
総合戦略整理番号	32301

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	人口減少や高齢化が急速に進み、ひとや地域のつながりが希薄化し、市の活力が大きく損なわれることが懸念される。そこで、選ばれるまちとしての魅力を戦略的にアピールをし、市の認知度を高め、交流人口・定住人口の増加を図る。	シティプロモーションの基本方針について市民等と検討し、地域の持つ資源を再認識し、統一感や一体感のあるイメージや魅力を明確にした共感できるコンセプトによる情報発信力を強化する。 また、市長が「茂原市の顔」としてトップセールスを担い、あらゆる機会を捉えてシティプロモーションを実行する。
	平成30年度の具体的な目標	平成30年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> 市民自らが地域の魅力を発見し、発信することにより、地域情報の流通促進、コミュニケーションの増加による魅力の向上や活性化を図る。 茂原市シティプロモーション基本方針に基いた本市の魅力を分かりやすくPRする。 	<ul style="list-style-type: none"> SNSを活用した情報発信のためのセミナーを開催する。 本市への移住・定住につなげるため、基本方針に基くターゲットに関心を持ってもらえ、本市の魅力を分かりやすくPRする動画を制作する。 	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	5,498	5,490	5,476	3,085	14,021	13,946	12,807	0	0	10,037	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	4,500	4,500	6,350	0	0	5,000	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	2,000	2,000	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	5,498	5,490	5,476	3,085	7,521	7,446	6,457	0	0	5,037	0

DO (実施)	個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
			計画	予算	決算	
	①	プロモーション取組方針の検討	0	0	0	
	②	取組方針に基づくシティプロモーション事業の実施	3,000	14,021	13,946	茂原市シティプロモーション基本方針に基づき、パンフレット、PR動画を制作。今後はロケツーリズムによるシティプロモーションを推進する。
	③	市長自らが先頭に立ったシティプロモーション	85	0	0	
	④		0	0	0	
	⑤		0	0	0	
	⑥		0	0	0	
	⑦		0	0	0	
	⑧		0	0	0	
	⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0		
事業費計			3,085	14,021	13,946	

平成30年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> 移住体験モニターツアー 4家族16名 移住定住促進パンフレット 2,000部 移住者掲載パンフレットリニューアル 1,000部 プロモーション用動画の制作 約5分 ロケツーリズムの推進(情報誌広告掲載、ロケ地検索サイト、セミナー開催等) 市民による情報発信のためのセミナー 3回、延べ32名

平成30年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目				整理番号	
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	605050403
6	05	05	04	シティプロモーション事業	2	01	09	06	茂原市総合戦略推進事業	

CHECK (評価)	30年度活動指標(アウトプット)の達成状況				30年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・移住体験モニターツアーの実施(16名参加) ・市外から見た茂原市の魅力を掲載した移住定住促進のパンフレット作成(2,000部) ・ロケツーリズムによる地域振興セミナーの開催 ・ロケ地情報誌「ロケーションジャパン」への広告掲載(見開き6ページ) ・本市の魅力をPRする動画の作成 				情報発信をした人数 ・茂原市公式facebook 茂原の魅力発信力UPセミナー記事 いいね47件、シェア11件 動画の閲覧回数 ・セミナー会場での上映1回			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である		A:有効である		A:効率的である			
	総合戦略における事業であり、地域の活性化のためには、まちの魅力を活かし、発信するシティプロモーション事業を進める必要がある。		ブランドを確立し、地域内情報の流通を促進し、市民の参画や推奨、域内消費の喚起による賑わい創出・誇りの醸成を目指すため。		基本方針の各施策の成果指標を総合戦略のKPIと関連づけて設定しているため、効率的に事業が進められるため。			
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
A:実現している		A:実現している		A:実現している				
パンフレットや動画、またロケツーリズムの推進により、WEBやマスコミなど、茂原市の情報を広範囲で共有する機会が増えた。		モニターツアーやパンフレットを通じた市民参加、千葉もばらロケーションサービス設立により多くの意見聴取の機会をつくった。		モニターツアーやパンフレット、また千葉もばらロケーションサービスを通じて、課題の解決に努めた。				
所管による評価とその理由、課題・問題点								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		市シティプロモーション基本方針に基づき、情報発信のためのパンフレットや動画を整備するとともに、千葉もばらロケーションサービスの設立により、市民を巻き込んだ体制を整えることができた。今後は、ロケツーリズムを通じて、茂原市の地元愛の醸成や情報発信に努め、基本方針に基づく施策の取り組みを更に推進する。						
企画政策課での評価とその理由								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		本市の魅力発信のための取り組みを多く行っており、多少の成果は見える。今後は、成果がより見えるよう、引き続き、より多くの市民を巻き込んだ体制づくりやPR方法を検討するものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和元年度活動指標(アウトプット)の設定				令和元年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> ・映画やテレビドラマ等の撮影支援 ・千葉もばらロケーションサービスの推進 ・ご当地グルメの研究 ・茂原市を紹介する動画の制作 ・SNSを利用した情報発信 				<ul style="list-style-type: none"> ・映画やテレビドラマ等の撮影支援数 ・映画やテレビドラマ等の撮影による市内における経済効果 ・映画やテレビドラマ等の撮影支援による広告換算費 			
令和元年度における具体的な目標				令和元年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> ・市民自らが地域の魅力を発見し、発信することにより、地域情報の流通促進、コミュニケーションの増加による魅力の向上や活性化を図る。 ・茂原市シティプロモーション基本方針に基いた本市の魅力を分かりやすくPRする。 ・千葉もばらロケーションサービスを通じたロケツーリズムの推進 				<ul style="list-style-type: none"> ・SNSを活用した情報発信 ・千葉もばらロケーションサービスの開催 ・映画やテレビドラマ等の撮影支援 ・ロケツーリズムに関する啓発活動 				